

森を楽しみながら学ぶイベント「Play Forest」を九州各地で開催

子どもたちの環境を大切にしている心を育むため、九州各地の森で「学ぶ」「守る」「楽しむ」の要素を織り込んだ環境イベント「Play Forest」を2016年度から実施しており、各地の環境団体や企業の皆さまと一緒に森の中に準備した「マイ箸づくり」など様々なブースを、家族で楽しみながら体験していただきました。

今後も、このような体験を通じて子どもたちに自然や環境のことを大切に感じてもらえるよう、2017年度は開催頻度を拡充し、九州のいろいろな森に展開していきます。

活動実績(2016年度)

地区	開催日	会場	来場者数
北九州	2017年3月12日	北九州市立山田緑地(北九州市小倉北区)	737人
福岡	2016年5月15日	福岡市油山市民の森(福岡市南区)	545人
	2016年11月23日	古賀グリーンパーク(福岡県古賀市)	775人
佐賀	2017年2月26日	佐賀県立森林公園(佐賀市)	909人
長崎	2016年11月5日	徳泉川内里・山・村(長崎県大村市)	146人
熊本	2017年3月5日	美里町ガーデンプレイス(熊本県下益城郡美里町)	524人
宮崎	2016年10月23日	法華嶽公園(宮崎県東諸県郡国富町)	214人
鹿児島	2017年3月19日	鹿児島市立少年自然の家(鹿児島市)	451人
合 計(8回)			4,301人



間伐材を活用した マイ箸づくり



ロープを使って木に登る ツリーイング



竹に巻いた生地を焼くくるくるパン



詳細は [九州電力](#)

- > 企業・IR情報 > 会社情報・CSR
- > CSRの取組み > 地域・社会との共生 > Play Forest

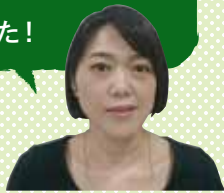


私の環境アクション

子どもたちの笑顔で
温かい気持ちになりました！

鹿児島支社 人事・業務部
人事労務グループ

あとの
後野 ひとみ



鹿児島県で初めて開催された「Play Forest」に、九友会（九電OB）の方々や「小鳥の巣箱作り体験コーナー」の運営スタッフとして参加しました。

子どもたちは、「巣箱になぜペンキを塗ってはいけないのか」、「巣箱の底に穴を空けるのはなぜなのか」など、鳥が棲みやすい環境について学びながら、真剣に巣箱作りに取り組んでいました。

普段あまり使わないドリルやバーナーでの作業に苦戦しているようでしたが、でき上がった巣箱を「家の庭に置いておく！」と嬉しそうに笑顔で話していたのが印象的で、温かい気持ちになりました。

Play Forestを通じて素直で好奇心いっぱいの子どもたちに、自然のおもしろさや大切にする心を伝えていけるようお手伝いを続けていければと思います。



くじゅう九電の森での環境教育活動

九電みらい財団（地域の皆さまの期待に応え、地域の課題解決に貢献する活動を更に充実させるため、2016年5月に設立）は、グループ会社の九州林産（株）と連携しながら、山下池周辺（大分県由布市）の当社社有林「くじゅう九電の森」の豊かな自然環境を活用した体験型の環境教育を行っています。

この環境教育は、地球温暖化の現状と森の役割を学ぶ座学と、「林業体験」「森林観察」「木工教室」などの体験学習を組み合わせたプログラムで構成しており、子どもたちの環境意識の啓発につながればとの思いから実施しています。

活動実績（2016年度）

	次世代向け	親子向け
内容	・学校や団体を対象 ・年間を通じて実施	・親子を対象 ・夏休みイベントとして実施
回数	15回	4回
参加者	530人	208人
合計	19回、738人	



詳細は [九電みらい財団](#)
> 環境活動 > 「くじゅう九電の森」とは



林業体験



森林観察



木工教室